

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 抗腫瘍免疫応答に重要な真のネオ抗原の同定と発がんとの関係解明
2. 研究代表者： 富樫 庸介（岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、抗腫瘍免疫応答に重要な真のネオ抗原の同定と発がんとの関係解明に挑み、治療応用及びがんの予防方法への応用を目的としている。

フェーズ1では、プロテオゲノミクスの手法を用いて新規のがんネオ抗原候補を見出すとともに、疲弊T細胞の新たなサブセットの発見や腫瘍浸潤リンパ球（TIL）におけるミトコンドリアの異常など、当初計画にはなかった成果も出ており評価できる。フェーズ2の研究計画では、ネオ抗原が実際の治療に応用可能なものであるかがキーになると思われる。発見したネオ抗原候補が真のネオ抗原なのか追求することで、がん治療に繋がることを期待する。

以上